

第4学年3組 道徳学習指導案

平成19年5月29日（火）第3校時

授業者 教諭

1 主題名 励まし合い助け合う教室にしよう 2－（3）信頼・友情

2 資料名 教室はまちがうところだ（日本標準）

3 主題設定の理由

（1）ねらいとする価値について

よい友達関係を築くには、学校生活や学習中などさまざまな場面を通して、お互いに理解し、助け合い、励まし合うことが大切である。そのために重要なことは、一人一人が自分の思いや考えをのびのびと表現できる環境をつくることである。たとえ、まちがった意見を発表する子がいても、温かく受け止め、互いに認め合い、助け合おうとする心情を育てたいと考え、本主題を設定した。

又、本校の研究主題「思いをふくらませ表現することのできる子どもの育成」、中学年部会のテーマ「友だちの意見を聞いて、自分の思いを素直に表現できる子の育成」からも、この時期に本主題を設定することは有効であると考えます。

（2）児童について

発表に関しては、自分の考えを自信を持ってはっきりと言える子は限られている。学習中も、すぐに反応し、挙手できる子は、いつも決まっている。発表をためらいがちな子は、指名されても最後まで話すことができないことが多い。前学年から、くり返し支援してはいるものの、やはり、まちがったらはずかしいという意識が強く、はきはきと答えることができないようである。学習集団を通して、少しずつ相手の気持ちを思いやれるようにはなってきたが、男子の中に、心ない言葉を発し、相手を傷つけてしまうような場面もある。どんな意見に対しても受け入れるような温かい心を育てていきたい。

（3）資料について

この資料は、一人一人が意見を出し合うことの大切さを歌った詩である。みんなで伸びていくには、みんなで意見を出し合い、学び合うことが大切である。まちがった意見も正しい答えを導くためにはとても価値のあるものであり、決して、はずかしいものではないということに気づかせたい。日頃、発表をためらいがちな児童にとって、まちがうことは、はずかしいことではないということに気づかせるのに適した資料である。

（4）指導について

意見を言いにくい児童の気持ちは、詩にあることと同じであることに気づかせ、共感できるようにする。中心発問では、グループで話し合わせたい。なぜ「まちがった意見を言おうじゃないか」と言っているのか、一人一人に考えさせ、まちがった意見の中から、正しい答えが見つかることに気づかせ、多様な考えを出し合い話し合うことが大切であることをおさえたい。指導後も、学習集団を通して自分の思いを素直に表現できる子を目ざし、励まし合い、助け合う学級づくりと合わせて支援していきたい。

4 本時のねらい

互いに意見を認め合い、理解し合い、助け合おうとする心情を育てる。

5 準備物

「教室はまちがうところだ」の詩、ワークシート

6 本時の展開

過程	主な発問と予想される児童の反応	支援（・）と評価（☆）
気づく	<p>1. 学習中、意見を言えたとき、言えなかったときの経験を発表し合う。</p> <p>○授業で、発表ができたときは、どんな気持ちですか。意見が言えなかったときは、どんな気持ちですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答えることができている気持ち。 ・まちがったらどうしようと思うとなかなか言えなくていやな気持ち。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表について振り返ることで、価値への方向付けを図る。
考える・深める	<p>2. 資料「教室はまちがうところだ」を読んで話し合う。</p> <p>○意見を言えなくなるのは、意見をいうことについてどう思っているからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい答えを言わなくてはいけない。 ・まちがうのがこわい。 ・まちがうのがはずかしい。 <p>◎なぜ「まちがった意見を言おうじゃないか」と言っているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが意見を言うことが大切だから。 ・みんなで、ああじゃないかこうじゃないかと言い合っただけで、本当の答えが見つかるから。 ・いろいろな考え方があった方がよく分かるから。 <p>○なぜ「みんなで出し合い言い合う」と「みんなが伸びていく」ことになるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな意見を言ったり、聞いたりして、いろいろ考えるから。 ・自分の考えと友達の考えを比べることで、友達の考えのいいところに気づくから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を言えない子の気持ちは、詩にあることと同じであることに気づかせ、共感できるようにする。 ・みんなで考えを出し合っただけで、答えを見つけていくことが大切であることを、グループで十分話し合わせたい。 ・一人一人が伸びていくには、それぞれの思いや考えを話すことが大切であることをおさえる。
見つける	<p>3. 「みんなで伸びていく」ために、どんなことに気を付ければよいか考え、発表し合う。</p> <p>○「みんなが伸びていく」ために、あなたはどんなことに気をつけますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをできるだけ発表する。 ・まちがってもいいから手を挙げて発表する。 ・友達の発表をしっかり聞く。 ・自分の考えと比べながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身をしっかり見つめさせるため、ワークシートに書かせたい。 ☆自分を振り返り、気を付けることを考えることができたか。（発表・ワークシート）
高める	<p>4. 教師の話聞く。</p> <p>「教室はまちがうところだ」を読む。</p> <p>○先生の話聞きましよう。</p> <p>○最後にもう一度「教室はまちがうところだ」をみんなで読みましよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞かせ、実践への意欲付けを図る。 ・この詩のよさを考えながら読ませる。